



市民総参加子ども育成運動

子どもへのまなざし運動特集

子どもへのまなざし100%のまちをめざして

いろいろな地域や団体・グループが、子どもとふれあうために工夫した取り組みを行っています。

地域元気アップ事業

若楠子ども育みに関する連絡協議会

子どもにチャレンジ精神を！

8月3日(水)・4日(木)に、若楠公民館を会場に、若楠校区地域子ども教室「わかす全員集合！」と公民館が主催で「夏休みチャレンジ教室」を開催しました。公民館のサークルや地域の人が講師になって、茶道や英会話、習字など8つの講座に延べ131人の小学生が参加しました。

今年度から若楠校区では、子どもと関わるさまざまな団体が、地域子ども教室（地域の各種団体と小学校が協力して行う子ども居場所づくり）の充実のために話し合いを重ね、大人同士がつながり始めました。



若楠子ども育みに関する連絡協議会
会長 松尾 齊昭

「夏休みチャレンジ教室」をスタートに、新たなイベントの実施と、地域の大人と子どもとふれあいの場づくりに取り組んでいます。

地域元気アップ事業

北山ふれあい企画推進協議会

ふるさとの魅力を子どもたちへ

小中一貫校北山校を会場に、恒例の「北山ふれあいサマーキャンプ」を、8月6日(土)・7日(日)の一泊二日の日程で開催しました。今回のキャンプには、北山校の小中学生63人と、応募者の中から抽選で選ばれた市内の小中学校16校の児童36人が参加しました。川遊びやそらめん流し、夜は初めての肝試しなど、友だちを作りながら、豊かな北山の自然を楽しみました。

この2日間、子どもたちの楽しむ姿を見ながら、この地域には素晴らしい人の絆や知恵・自然がたくさんあることを再発見できました。



北山ふれあい企画推進協議会
会長 吉村 剛

そんなふるさとの魅力を子どもたちの心の片隅に少しでも残せたらという思いで、今後も保護者や先生、地域の人々と一緒に頑張っていきたいと思えます。

子どもたちに「出番」を作りました！ 北川副校区「ふれあい夏まつり」

子どもボランティアのがんばりが光っていました。「子どもへのまなざしふれあい夏まつり」のステージを掲げ、7月17日(日)に北川副小学校グラウンドで開催された、北川副校区「ふれあい夏まつり」。

北川副小、城南中、佐賀東高校の児童や生徒約150人が、ポスター描き、テレビPRなどの事前の広報活動から、会場準備、模擬店販売のお手伝いなどのボランティアとして活動しました。

「最初は、めんどくさかったけれど、やっているうちに楽しくなってきた。みんなの役に立てて良かった。」「いろいろな人と話したり、『ありがとう』と喜んでもらったりして、とてもやりがいがあるボランティアでした。」これは、この夏まつりの実行委員会で、子どもたちの「出番」を作ってもらい、ボランティアに取り組んだ子どもたちの喜びのつぶやきです。

子どもの「出番」を作るのは、私たち大人の役目です。みなさん、これから子どもたちと一緒に汗を流し、大いに声かけをしましょう。

子どもたちは、大人とのふれあいを待っていますよ！



まなざしリポーター 新郷 典子

歌い継いでいきましょう！ 童謡を♪ 子育てサロン神野 カンガルー

「キヤー！かわいい！」「ほら、笑ったよー！」「あら、転んで、泣いちゃったー！」

7月27日(水)、神野公民館で子育てサロン「カンガルー」が開催され、私も童謡コンサート講師として招かれました。幼児と母親、地域のお年寄りのみなさん、成章中美術部の生徒たちなど大勢参加しました。

最近の子どもたちが歌わなくなった懐かしい童謡の数々を私の指揮のもと、みんなで楽しく歌いました。

童謡は、「母と子の愛情」「友情」「やさしさ」「おもいやり」などを教えてくれる心の教科書だと思います。子育てサロンに参加したみなさんは、童謡の素晴らしさをあらためて肌で感じていました。ボランティアで参加した成章中の生徒は、幼児と一緒に絵かきをしたり、紙芝居など、幼児とかわる貴重な体験をすることができました。

さあ！心豊かな子どもの成長を願って、母から子どもへ童謡を歌い継いでいきましょう。



まなざしリポーター 的野 勝

子どもたちとふれあう活動

『鍋島班』

鍋島班は、平成20年に鍋島で事業や住まいを構える若手経営者たちが「地元鍋島に何か貢献しよう」とを合言葉に発足し、現在22人のメンバーがいます。

会員同士の親睦、異業種交流はもちろんですが、鍋島校区内で、「子どもへのまなざし運動」への参加、「子ども100番の家の登録」、「月1回の道路掃除や子どもたちへの挨拶運動」、「学校行事への団体参加（子ども夏祭りのそらめん流し）」、「中学生との田植え、稲刈り体験会」など、子どもを育むさまざまなボランティア活動を展開しています。活動をとおして、子どもたちから学ぶことや気づかされることも多くあります。今後子どもたちとの交流を楽しみながら、地域に貢献していきたいと思えます。



鍋島班 会長 堤 正之

水をもっと知ろう！考えよう！ 勸興まちの駅

勸興公民館で毎月開催されている「勸興まちの駅」。7月9日(土)、この日のまちの駅は、「水をもっと知ろう！考えよう！」と水にちなんだイベントが開催され、予想以上に親子でいっぱいでした。特にきらきら光る色水作りでは、急ぎょ、スタッフに代わって、参加していた4年生が作り方を説明してくれました。好きな色の絵の具で色水を作り、それにきらきら光る秘密の物（スパークル）を入れると出来上がり。「わあ、きれい。」と喜びの声。

役割を終えたスタッフ役の子どもたちは、満足気でした。

私は、楽しんで参加している親子を眺めながら、子どもたちが地域で育てられているという意識を持つてほしいと思いました。



まなざしリポーター 田中 哲雄

問い合わせ

佐賀市教育委員会 教育総務課
子どもへのまなざし運動推進室
☎ 40・7354 FAX 40・7394